

1. 開会【事務局（安西課長）】

2. 辞令交付

3. 市長あいさつ

4. 委員長・副委員長の選出

- ・委員長・副委員長の選出方法について意見がなければ事務局案を提案することです承。
- ・委員長には遠藤委員、副委員長には桑原委員を推薦。
- ・事務局案を各委員に諮り、承認される。

5. 委員長あいさつ

- ・みなさんのご協力によって、スムーズに進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

6. 国際交流審査委員会の概要について

【事務局（大井係長）】

- ・事務局より、過去の補助金交付状況や、対象事業例等について説明

7. 議 事

国際交流事業審査（ATL 講師による交流イベント）について

【事務局（大井係長）】

- ・事業内容について事務局より説明

【原田委員】

- ・申請者は NPO 法人ふらの樹海の里ネットワークで、授業を受けるのは東山保育所の園児ということであれば、保育所長の同意書をもらった方が良いのでは？

【事務局（大井係長）】

- ・同意書を頂くようにします。

【刑部委員】

- ・園児の人数、男女数、歳児は？

【事務局（大井係長）】

- ・園児は6名。男女の数、歳児は聴き取りを行っていない。

【桑原副委員長】

- ・内容としては何の問題もないと思う。これからの英語を活用していくという観点から幼児教育施設で、先取りして ALT が入るとするのは良い試みだと思いますが、この事業自体がそも

そも市民にどんな形でアナウンスされて、申請の手続きなどは広報などで周知されて、それを見てアクションを起こしていくという感じなのか？

・こういう事業を活用して ALT を確保できるのであれば、広くほかの幼稚園、保育所にも取り組みを投げかけても良いのではとも思う。本校においても過去の実績を見ると、ぜひ手を挙げてみたい内容のものがあったりするので、今後、潤沢な予算があるのであれば、市民が活用できるような広報活動があっても良いのではないかと感じる。

**【事務局（大井係長）】**

・補助金を受けられるのが1回限りという条件があり、且つ20万円以内となるので、継続的な部分については助成できない形になる。今回については始めるにあたって助成を受けて、まず実施して、今後継続をするのであれば、地域の負担や受けられる方の負担などいろんな方法を考えながらという形になります。以降については国際交流の補助金は受けられない形になります。

**【桑原副委員長】**

- ・今年度、単発になるのか？
- ・継続して今後続けていくとなると、要綱上補助を受けられないのか？
- ・過去の与論島交流などの事業は？

**【事務局（安西課長）】**

・与論島の事業は、ある団体が主催しており、それに個人が参加したいということで申し込んで、補助申請についても希望する個人が申請をするという形になっているので、行かれる方はこの事業に対して1回ということになる。団体が申請しているという事ではなく、行かれる方が個人申請をしているという形になっている。

・形的には同じ事業を継続しているように見えるが、あくまでも個人申請。

**【事務局（大井係長）】**

・国際交流事業については、広報や市のホームページに掲載しているので、ぜひ活用できるタイミングがあれば、積極的に利用していただきたい。

**【事務局（安西課長）】**

・従来のほとんどは、外国に行く旅費に対しての補助がほとんどだったが、最近はコロナの影響で外国へ行けない状況なので、市内で語学講座などを企画していただければ、それに対しても助成するという形になっております。

**【遠藤委員長】**

・これまでいろいろ話してきましたが、大変良い内容だと思う。今後の問題として、この補助金が単発で終わってしまう。保育所でやるというのであれば、例えば今年はこの補助金を使い、来年は軌道に乗ろうかと思いますので、そうなれば保育所の事業費として公費を使ってでもやるべきだと思う。

小学校中学校は ALT が入っているので良いと思うが、幼稚園保育所についてはそういう機

会がないので、こういった形で1回やっていただいて、次年度以降の継続については、できる限り市のお金を使うなりして進める方がいいと思う。そうしないと個人負担というのが、6名の子どもさんなので、当日1人休んだら5人で割るのか等いろんな問題が出てくると思いますので、そのあたりは行政内部の連携を取りながら進めていただきたいと個人的に要望をします。

**【原田委員】**

・東山保育所の所長の理解とか継続性を条件に、本年は助成するという事で是非継続して欲しいということを伝えて欲しい。

**【事務局（大井係長）】**

・今年やってみての判断になるので、継続が条件ではなくて、今年試してみてできれば継続していただきたいという要望は伝えます。

**【事務局（安西課長）】**

・事前に聞いた話だと、教育委員会の方に相談したが、残念ながら今年はALTの人数が足りず通常の小中学校の授業だけでいっぱい、趣旨としては良いがこの事業のお手伝いできる余裕がないと聞いている。たまたま他の町でALTをやっている方に声を掛けて、今年やってみようということだったので、来年以降は富良野市のALTの協力を得ながら保育所で企画するなど継続できれば良いのかと思うので、支所長に伝えていきたい。

**【遠藤委員長】**

・他にご意見ありませんか

→委員長より委員へ確認し、承認される